



6年生ありがとう！卒業を祝う会



1日（金）に卒業を祝う会が行われました。6年生の意志を受け継ぎこれからの常磐小を背負っていく5年生が中心となって企画運営をし、卒業生、在校生、教職員が一体となって、笑いあり、涙あり、感動ありの、大変素敵なひと時をみんなで過ごすことができました。

最初の6年生入場では、名前を呼ばれると大きな声で返事をし、二人一組で考えたポーズがバッチリ決まっていた。在校生から卒業生に向けては、合唱や思い出



の詰まったダンスを披露し、心を込めた呼びかけなどによって感謝の気持ちを表現しました。1，2年生は、6年生が2年生のときに運動会で踊った星野源の「アイデア」のダンスを披露して、小学校生活で立派に成長した6年生に、かわいかったころを思い出させて



いました。3年生は、音楽の授業で歌っている「とどけよう この夢を」と、今年度流行の曲の中からA d oの「唱」を選曲し、体育の授業で取り組んだダンスを披露して会場を盛り上げました。途中で担任

の先生もキレッキレのダンスを見せて大いに会場を沸かせました。4年生は、学芸会の思い出の曲であるS M A Pの「世界に一つだけの花」をしっとりと歌いあげ、お馴染みの振り付けの場面では、6年生も一緒になって踊る姿がありました。5年生は、6年生が入学したころから歩んできた中で印象に残っていることを寸劇にしたり、クイズを出題したりして、全校のみんなが楽しめるように、温かな心で会を進行していきました。また、「Believe」



を二部合唱で歌い、友と一緒に歩んで未来の扉を開ける6年生にエールを送りました。途中で一部の先生方も加わって感極まる姿に、多くの6年生が涙していました。また、お世話になった先生たちからのメッセージや思い出の場面のスライドで、6年間で振り返り感動に浸ることができました。



6年生は、卒業の定番ソングであるレミオロメンの「3月9日」を気持ちを込めて歌いあげました。さすがに6年生というところをみせ、歌詞にある「新たな世界の入り口に立ち気づいたことは一人じゃないってこと」というフレーズが、6年生の絆の強さを感じさせてくれました。6年生の姿は、瞳を閉じたまぶたの裏に、残り続けることでしょう。

